

相互依存と平和

経済は政治を超えるのか？

冷戦終結後、国際的な経済の相互依存はいつそう高まり、その依存こそが平和の構築や維持を導くという言説が広まっていました。ロシアによるウクライナ戦争の現実、経済にかかわらず、政治が紛争を激化させているように見えます。果たして、経済の相互依存は政治に対して無力なのか？報告では中国を中心に国際的な貿易の依存比較を題材に経済と平和の関係を読み解きます。

報告者

星野 真 (駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部)

コメンテーター

桑波田 浩之 (長崎大学経済学部)

司会

岩下 明裕 (北海道大学 / 長崎大学)

開催日時

2024年9月9日(月) 16:30 ~ 18:00

開催方式：オンライン

参加申込用 URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_tymYCAIDQICsRHqMB9hpAQ



主催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 生存戦略研究ユニット (SRCW)

共催：長崎大学グローバルリスク研究センター (CGR)

人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「東ユーラシア研究」

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点 (EES)

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット (UBRJ)

問い合わせ：iwasi@slav.hokudai.ac.jp

